

製品名: DUSP1 ウサギモノクローナル抗体

カタログ番号: AMRe86514

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|--|
| 説明 | 組換えウサギモノクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,FC,IP |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | 未修正 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | モノクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | - |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|--|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC/IF 1:100-1:200,FC 1:100-1:200,IP 1:50-1:100 |
| 分子量 | Calculated MW:39 kDa; Observed MW:39 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|----------------------------------|
| 遺伝子名 | DUSP1 |
| 別名 | HVH1; MKP1; CL100; MKP-1; PTPN10 |
| 遺伝子ID | 1843 |
| SwissProt ID | P28562 |
| 免疫原 | ヒト DUSP1 の合成ペプチド |

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、チロシンとスレオニンの両方に特異性を持つホスファターゼです。このタンパク質

は MAP キナーゼ MAPK1/ERK2 を脱リン酸化することができ、その結果、MAP キナーゼは複数の細胞プロセスに関与します。このタンパク質は、ヒトの環境ストレスに対する細胞応答と細胞増殖の抑制において重要な役割を果たしていると考えられます。さらに、このタンパク質は一部の固形腫瘍に化学療法と放射線療法の両方に対する耐性を付与するため、がん治療の標的となります。
[RefSeq 提供、2017 年 8 月]

研究分野

-

画像データ

HeLa
kDa
250 -
150 -
100 -
75 -
50 -
37 -
25 -
20 -
15 -
10 -

DUSP1 ウサギモノクローナル抗体を 1:1000 で使用した HeLa 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。